

法務・金融・競争政策WGの検討状況等について

平成 15 年 7 月 28 日

法務・金融・競争政策WG

主査 神田秀樹

1 検討の方向性

(法務)

起業の支援と効率的な資金調達の仕組みの改善という観点から、現行制度の改革を含めた基本的なインフラ整備を検討する。

(金融)

競争制限的な規制の撤廃および市場型間接金融の促進という観点から、「社債法制と融資法制の連続化」などについて、現行制度の改革を含めた基本的なインフラ整備を検討する。また、要望の多い個別項目の規制改革についても検討する。

(競争政策)

わが国における競争的環境の整備の一層の推進という観点から、経済分野における現行制度の改革を検討する。

2 これまでのWGの開催状況

(法務・金融：「社債法制と融資法制の連続化」)

【問題意識】

社債に関する法制と借入れに関する法制は、現在、別個の世界を形成しているが、シンジケートローン等の「市場型間接金融」の発達によって、実態的には両者の融合現象が生じている。将来における日本の金融の活性化を図る観点から、「市場型間接金融」の促進のため、社債法制と借入法制の連続化とそれを補完する制度面の対応が求められる。

【検討の切り口】

- ・ 社債法制と借入法制の連続化
- ・ 動産担保や債権担保法制における米国のような横断的仕組みの導入
- ・ 担保取引のアンバンドリングへの法的対応

【検討の経緯】

- ・ 5月20日 第1回WG
 - (1) 社債法制と融資法制の連続化(みずほコーポレート銀行からヒアリング)
 - (2) 個人保証(中小企業庁、経済産業省からヒアリング)
- ・ 6月20日 第2回WG
 - 社債法制と借入法制の連続化(法務省、金融庁からヒアリング)

(競争政策)

WG主査の指示のもと、事務局において、政府調達制度の見直し、独禁法のエンフォースメントや体制の見直し・強化等に関する関係省庁の取組状況についてヒアリングを実施した。

3 検討テーマ案

(注)次に掲げるテーマは現時点における候補であり、必ずしもこれらすべてを取り上げるといふ趣旨ではない。また、これら以外のテーマについても検討中であり、口頭で補足説明する予定。

(法務)

- ・ 株式会社に関する最低資本金規制の特例の恒久措置化
- ・ 「新しい投資スキーム」の創設(日本版リミテッドパートナーシップ(LPS)、有限責任組織(LLC)など)

(金融)

- ・ 社債法制と融資法制の連続化(「法務」とも関係する)
- ・ 金融サービス法制の改組・横断化(日本版「金融サービス市場法」の創設)
- ・ 生命保険の構成員契約規制の撤廃

(競争政策)

- ・ 官公需制度の抜本的見直し
- ・ フランチャイズシステムに関する制度整備(情報開示制度のサービス分野への適用拡大等)
- ・ 公益事業に関する分野横断的な競争促進ルールの整備

以 上